

Title: 「明日は明日の風が吹く」



志村 賢一  
1987年生まれです。  
いつも失敗ばかりし  
ている私ですが、海  
外でもたくさん失敗  
して行きたいと思  
います。

## ● 最近のエントリー

☑ 流浪の民  
(2010.03.31)

## ● アーカイブ

☑ 2010年03月  
☑ 2010年02月  
☑ 2009年09月  
☑ 2009年08月  
☑ 2009年07月  
☑ 2009年06月  
☑ 2009年05月  
☑ 2009年04月  
☑ 2009年03月

## ● 投稿カレンダー

## ● カテゴリー一覧

## ● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

**OLYMPUS**  
Your Vision, Our Future



RSS 2.0

明日は明日の風が吹く > 2010年03月 アーカイブ

10.03.31

## 流浪の民

[Tweet](#)

[Check](#)



今ひとつ、春らしく、暖かくなならない。家の周りの桜並木は、ぼつり、ぼつり、小さな花を咲かしている。もう一度、暖かい春風が、私の全身を包んでくれれば良かったのに。

多分、今年は、もう会えないでしょう。

あの僅かに希望を含んだ匂いがする風に。

風に揺れながら散ってゆく、満開の桜の花も。

2010年3月29日、マレーシアに旅立ちます。

マレーシア語学特待生として、英語を勉強しに行きます。

このような環境を与えてくださりました、日本写真芸術専門学校様、関係者様、両親、大変感謝しています。有り難うございます。

出発前、久しぶりに、中学時代の友達と会う。

友達が千葉に赴任する話をしている。

「23年間、住み続けた街を出て行くのは、とっても不安だ。僕は生まれてからこの街でしか、生活した事がない。」と言った。彼の一言に、私自身の生活環境がどれだけ変動しているのかを、初めて自覚した。

彼から見れば、私は流浪の民である。

一歳、香港に転居する。

10歳、東京都狛江市に転居。

15歳、山梨県甲府市の高校寮に転居。

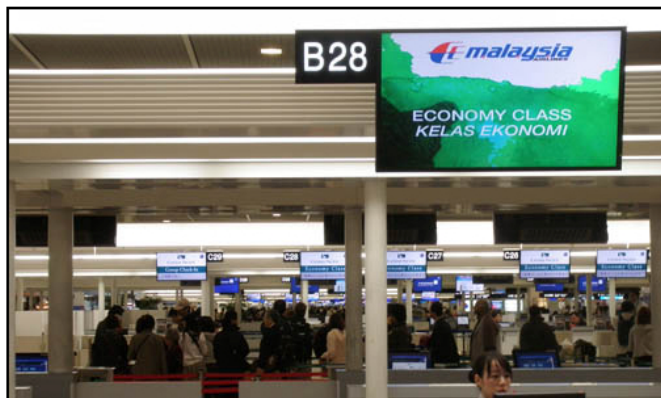
18歳、東京都狛江市に帰ってくる。

22歳、アジア10カ国で半年を過ごす。

23歳、マレーシアに留学。

これだけ、環境が変わっているのである。

春に。





マレーシアに行く準備は一日でした。  
必要最低限の物だけ鞆につめて。  
後は、何とかなるだろうと腹をくくる。

記憶にない時から通う成田空港。  
22年前、母親の腕に抱えられ、この場所から、旅立た。何もわからないまま。  
23歳になった私は嬉しいだか、寂しいんだか、よくわからない感情を胸に抱きながら旅立ちます。

今日、日本を旅立ちます。

カテゴリ：

post by 志村 賢一 | 日時: 2010.03.31 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)